

法華經為字和訓考

——資料篇(三)——

田 島 毓 堂

例 言

一、和訓考(一)～(八)の中に、通算173例(一部重出)を掲げた。その他にも若干例を引用した。今回為字すべてについて、和訓考の資料として用ゐたものの内、代表的なテキストを揭示する。

一、為字の一々について、(1)～(27)の項目に従つて示す。(1)～(27)はそれぞれ次のとおりである。それぞれの資料及びテキストについては和訓考(一)～(八)のいづれかに於てすでに紹介してゐる。主として、和訓考(一)を参照されたい。

- (1) 大正新脩大藏經第九卷所収法華經本文及び品名、所在(入頁・段・行)
 - (2) 法華經為為章写本(叡山文庫蔵) 為字訓
 - (3) 法華經為為章板本(元禄十年刊) 為字訓
 - (4) 法華三大部補注の為字訓
 - (5) 日相本妙法蓮華經の為字訓
 - (6) 科注妙法蓮華經の為字訓
 - (7) 山田嘉藏氏旧藏方便品白点による訓読と所在(入行) (中田祝頁)
 - (8) 立本寺藏妙法蓮華經古点による訓読及び所在(入頁・上下・行)
 - (9) 立本寺藏妙法蓮華經古点の為字訓
 - (10) 竜光院藏妙法蓮華經古点による訓読及び所在(入頁)
 - (11) 竜光院藏妙法蓮華經古点の為字訓
 - (12) 足利本仮名書法華經と所在(入卷行)
 - (13) 心空刊倭点法華經と所在(入卷行)
 - (14) 日遠撰文段經妙法蓮華經
 - (15) 文段經妙法蓮華經の為字訓
 - (16) 頂妙寺藏版妙法蓮華經(天保五年刊)
 - (17) 頂妙寺藏版妙法蓮華經(明治改訓版、明治一九年刊)
 - (18) 頂妙寺藏版妙法蓮華經(昭和新版、昭和四七年刊)
 - (19) 科注妙法蓮華經(徐注)
 - (20) 淨敝〔釋注〕略解妙法蓮華經新註
 - (21) 赤松光映〔調点〕校正妙法蓮華經
 - (22) 『訓訳妙法蓮華經』(法華經普及会編)と所在(入旧版頁・新版頁)

夫氏『重要法華經方便品解題』昭56年による)

- (23) 岩波文庫『法華経』と所在(八巻・頁)▽
 (24) 平樂寺版『妙法蓮華経阿含点句説』
 (25) 法華訳和尋跡抄の為字訓
 (26) 備考(尋)は法華訳和尋跡抄の為字訓に関する言説、(山)は法華経山家本裏書の為字関係記事
 (27) 注「訓訳」の新旧両版の異同、「岩波本」の初版、再版の異同

一、(2) (6)、(9)、(11)、(15)、(25)の為字訓の欄について、為字訓のない場合は空欄とする。/印は該当本文がないことを示す。*印は、二ヶ所以上の為字訓が一括して示されてゐるものであることを示す。但し、それが、はつきり特定できるやうに示されてゐる場合は、*印をつけない。(9)の十印は寿慶聖人によるものである。

一、板本為々章と活版本為々章はNo416(板一以、活一与)のほか、為字訓に関しては全同である。補注は、唐本(張明刊)、板本(慶安三年、寛文九年)活版本(卍統蔵)とも為字訓は等しい。

一、(7)(8)(10)は全巻そろつたものではない。本文のない場合は空欄とする。(7)は方便品のみである。今回からは省略する。(10)も今回は省略する。

一、(12)は分別品、神力品、嘱類品を欠く。この部分、文政八年刊記の摩尼園蔵版で補ふ。この部分、所在は巻行ではなく、頁、上下、行で示す。

一、(19)「徐注」は寛永八年版、慶安二年版、延宝四年版、寛文八年

版、元禄四年版など多数ある(いづれも異版)。今回は、寛永版に主としてより、慶安版、延宝版と比較して若干の補正をした。なほ、訓点は板本に刻されたものを示す。所持者による書き入れがそれぞれあり、興味深いのが、今回はすべて割愛した。

一、(20)は、一如の注をもととした浄蔵の「冠注略解」によつて訓点を示した。

一、(13)(14)(16) (21)においては、片仮名は通行字体にした。子↓ネ、せ↓セなど。また、合字、又は漢字草体によるものは、印刷の都合により、片仮名で示した。

人↓ナリ) ノ↓シテ) ㇿ↓トモ) コ↓コト) など。() のつけであるものは、右の如き場合を示す)

但し、以・下・玉・上などはそのまま残した。訓点のつけ方で、現在の目からは不思議なものもそのままとした。

一、(22)は元版(大正5年初版)によつて示し、新版(昭和30年、仮名づかひを改める)の頁数も示した。若干の相違があるが、これは(27)に示した。

一、(23)は改訂版によつて示した。初版との異同は(27)に示した。

一、(24)は两点本の代表としてあげた。これ以前の版とみられるものがあるが、刊年不明ゆえ、その明らかな平樂寺版によつた。

一、(26)、尋跡抄は為字の訓にかかはる部分のみを示した。句読点などは若干改めた部分がある。山家本裏書は、為字に関連する部分を示した。関係記事のない場合は省略した。

一、各訓読において△▽はふり仮名を示す。() は補読を示す。尋跡抄においては()内は割注を示す。

一、(10)(12)(23)(24)は為字のよみの部分のみを示した。

一、近代のものは(21)(22)(23)のみである。代表的なものを取りあげるにとどめた(23)は代表的なものとはいへないが)。その他、いくつかのものについては、(22)の如く、頂妙寺版明治版の系統をひくもの、または、初版の系統をひくもの等があるが、それについては、補説を用意する。

一、(27)は関係記事のない場合は省略した。

一、今回はNo 169 (葉草喩品) からNo 252 (化城喩品の最後) までを掲載する。

以上

法華經為字和訓資料

No	169
(1)	為聽法故 (葉草品 一九b 15)
(2)	以 (3) 以 (4) 以 (5) 与 (6)
(8)	法を聽カムヲ為ての故なりと (28 a 4) (9) 以
(11)	／
(12)	かための (3-49)
(13)	為 ^{メノ} 聽 ^レ 法 ^ヲ 故 ^ニ (3-26)
(14)	為 ^レ 聽 ^レ 法 ^ヲ 故 ^ニ (15) 以
(16)	為 ^レ 聽 ^レ 法 ^ヲ 故 ^ニ
(17)	為 ^レ 聽 ^レ 法 ^ヲ 故 ^ニ
(18)	為 ^レ 聽 ^レ 法 ^ヲ 故 ^ニ
(19)	為 ^レ 聽 ^レ 法 ^ヲ 故 ^ニ
(20)	為 ^レ 聽 ^レ 法 ^ヲ 故 ^ニ
(21)	為 ^レ 聽 ^レ 法 ^ヲ 故 ^ニ
(22)	法を聽かんが為 ^レ △た ^メ ▽の故に (旧 129 新 135)
(23)	んがための (上 268)
(24)	ンガタメノ
(25)	／

- (2) (1) No 171 不即為說一切種智 (藥草品 一九c6)
- (3) 与
- (4) 与
- (5) 与
- (6) 与
- (25) (24) タメニ
- (23) ために (上 268)
- (22) 為へため√に法を説くことを種々無量にして (旧 130 新 136)
- (21) 而為_レ説_レ法_ヲ
- (20) 而為_レ説_レ法_ヲ
- (19) 而為_レ説_レ法_ヲ
- (18) 而為_レ説_レ法_ヲ
- (17) 而為_レ説_レ法_ヲ
- (16) 而為_レ説_レ法_ヲ
- (14) 而為_レ説_レ法_ヲ (15) 与
- (13) 而為_レ説_レ法_ヲ (3-28)
- (12) ために (3-53)
- (11) /
- (8) 而も為に法を説(き)タマフこと (28 a 8)
- (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) 与 (6) 与 (9) 与
- (1) 而為説法 (藥草品 一九b8)

- (11) (8) 甚為レ希有なり (29 a 2)
- (2) 是 (3) 是 (4) 是 (5) 是 (6) 是 (9) 是
- (1) No 172 甚為希有 (藥草品 一九c7)
- (25) (24) タメニ
- (23) ために (上 272)
- (22) 是の故に即ち為へため√に一切種智を説かず (旧 131 新 137)
- (21) 不即_レ為_レ説_レ一切種智_ヲ
- (20) 不即_レ為_レ説_レ一切種智_ヲ
- (19) 不即_レ為_レ説_レ一切種智_ヲ
- (18) 不即_レ為_レ説_レ一切種智_ヲ
- (17) 不即_レ為_レ説_レ一切種智_ヲ
- (16) 不即_レ為_レ説_レ一切種智_ヲ
- (14) 不即_レ為_レ説_レ一切種智_ヲ (15) 与
- (13) 不即_レ為_レ説_レ一切種智_ヲ (3-45)
- (12) ために (3-87)
- (11) /
- (8) 是の故に即為に一切種智を説(き)タマハ不ハサ√リキ (29 a 1)
- (9) 与

- (12) なりとす (3-88)
 - (13) 甚ナリト 為スニ希有ナリト (3-45)
 - (14) 甚 為レニ希有ナリ (15) 是
 - (16) 甚 為レニ希有ナリ
 - (17) 甚ナリ 為レニ希有ナリ
 - (18) 甚ナリ 為レニ希有ナリ
 - (19) 甚ナリ 為レニ希有ナリ
 - (20) 甚ナリ 為レニ希有ナリ
 - (21) 甚ナリ 為レニ希有ナリ
 - (22) 甚為レニ希有ナリ (旧131 新137)
 - (23) となす (上272)
 - (24) コレ
 - (25) 是
 - (26) (尋)甚ナリ為レニ希有ナリ 此為訓是。
- No 173
- (1) 則為永失 (藥草品 一九c 13)
 - (2) 作 (3) 作 (4) 当 (5) 当是 (6) 是 (存疑)
 - (8) 則為に永ク失へウシ▽ナヒツ (29 a 12)
 - (11) /
 - (12) ことをす (3-99)
 - (13) 則為ニ永ナカク失ウシナウコトヲ (3-51)

- (14) 則ヘシ為レニ永ナラ失フ (コレ、ヘシ 二訓、下欄外「科註為字訓是句解云則是」) (15) 当
 - (16) 則ヘシ為レニ永ナラ失フ
 - (17) 則ヘシ為レニ永ナラ失フ
 - (18) 則ヘシ為レニ永ナラ失フ
 - (19) 則ヘシ為レニ永ナラ失フ
 - (20) 則ヘシ為レニ永ナラ失フ
 - (21) 則ヘシ為レニ永ナラ失フ
 - (22) 則ち永く失ふべし (旧131 新138)
 - (23) ために (上272)
 - (24) ベシ
 - (25) 当
 - (26) (尋)則ヘシ為レニ永ナラ失フ 左点、科注句解、意。俱訓是。右点、補注、意。訓当。且從補注。(山)為 為々章訓作、補注・訓当、科注訓是。
- No 174
- (1) 隨力為説 (藥草品 一九c 14)
 - (2) 与 (3) 与 4 与 (5) 与 (6)
 - (8) 力に隨(ひ)て為に説(き)て (29 a 12)
 - (11) /
 - (12) ために (3-100)
 - (9) 与

- (13) 随^レ力^ニ為^シ説^ス (3-52)
- (14) 随^レ力^ニ為^シ説^ス (15) 与
- (16) 随^レ力^ニ為^シ説^ス
- (17) 随^レ力^ニ為^シ説^ス
- (18) 随^レ力^ニ為^シ説^ス
- (19) 随^レ力^ニ為^シ説^ス
- (20) 随^レ力^ニ為^シ説^ス
- (21) 随^レ力^ニ為^シ説^ス
- (22) 力^ニ随^テつて為^シへ^テため^ニに説^キいて (旧131 新138)
- (23) ために (上272)
- (24) タメニ
- (25) /
- No 175
- (1) 為^シ諸^ノ衆^生分^ニ別^シ演^ス説^ス (藥草品 二〇a1)
- (2) 与 (3) 与 4 与 (5) 与 (6) 与
- (8) 諸^ノ衆^生の為^ニに (29 b 17) (9) 与
- (11) /
- (12) のための (3-127)
- (13) 為^シ諸^ノ衆^生分^ニ別^シ演^ス説^ス (3-64)
- (14) 為^シ諸^ノ衆^生分^ニ別^シ演^ス説^ス (15) 与
- (16) 為^シ諸^ノ衆^生分^ニ別^シ演^ス説^ス

- (17) 為^シ諸^ノ衆^生分^ニ別^シ演^ス説^ス
- (18) 為^シ諸^ノ衆^生分^ニ別^シ演^ス説^ス
- (19) 為^シ諸^ノ衆^生分^ニ別^シ演^ス説^ス
- (20) 為^シ諸^ノ衆^生分^ニ別^シ演^ス説^ス
- (21) 為^シ諸^ノ衆^生分^ニ別^シ演^ス説^ス
- (22) 諸^ノ衆^生の為^ニにへ^テため^ニに諸^ノ法^ノの實^ヲを分^ニ別^シ演^ス説^ス (旧132 新139)
- (23) のために (上276)
- (24) ノタメニ
- (25) /
- No 176
- (1) 我^ハ為^シ如^レ來^ニ兩^ノ足^ノ之^ノ尊^{ナリ} (藥草品 二〇a4)
- (2) 是 (3) 是 (4) 是 (5) 是 (6) 是 (9) 是
- (8) 我^ハは為^シレ^テ如^レ來^ニ兩^ノ足^ノ之^ノ尊^{ナリ} (30 a 2)
- (11) /
- (12) これ (3-130)
- (13) 我^ハ為^シレ^テ如^レ來^ニ兩^ノ足^ノ之^ノ尊^{ナリ} (3-66)
- (14) 我^ハ為^シレ^テ如^レ來^ニ兩^ノ足^ノ之^ノ尊^{ナリ} (15) 是
- (16) 我^ハ為^シレ^テ如^レ來^ニ兩^ノ足^ノ之^ノ尊^{ナリ}
- (17) 我^ハ為^シレ^テ如^レ來^ニ兩^ノ足^ノ之^ノ尊^{ナリ}
- (18) 我^ハ為^シレ^テ如^レ來^ニ兩^ノ足^ノ之^ノ尊^{ナリ}
- (19) 我^ハ為^シレ^テ如^レ來^ニ兩^ノ足^ノ之^ノ尊^{ナリ}

- (25) /
- (24) コレ
- (23) これ (上 276)
- (22) 我は為^ハ△^レ▽^レれ如来^{ナリ}兩足^ノの尊^ニなり (旧 133 新 139)
- (21) 我^ハ、為^リ如来^{ナリ}兩足^ノ、之^ノ尊^ニ
- (20) 我^ハ、為^レ如来^{ナリ}兩足^ノ、之^ノ尊^ニ
- No 177
- (1) 我為^レ世尊 (葉草品 二〇 a 9)
- (2) 是 (3) 是 (4) 是 (5) 是 (6) 是
- (8) 我は為^レ世尊^{ナリ} (30 a 8) (9) 是 (10) 是
- (11) /
- (12) これ (3-139)
- (13) 我^ハ、為^レ世尊^ニ (3-70)
- (14) 我^ハ、為^レ世尊^{ナリ} (15) 是
- (16) 我^ハ、為^レ世尊^{ナリ}
- (17) 我^ハ、為^レ世尊^{ナリ}
- (18) 我^ハ、為^レ世尊^{ナリ}
- (19) 我^ハ、為^レ世尊^{ナリ}
- (20) 我^ハ、為^レ世尊^{ナリ}
- (21) 我^ハ、為^レ世尊^ニ
- (22) 我は為^ハ△^レ▽^レれ世尊^{ナリ} (旧 133 新 139)

- (26) (尋) 我^ハ、為^レ世尊^{ナリ} 此為^{ナリ}訓是。
- (25) 是
- (24) コレ
- (23) 為^ハ△^レ▽^レれ (上 278)
- No 178
- (1) 為^レ大衆^ノ説^ク甘露^ノ淨法^ヲ (葉草品 二〇 a 10)
- (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) 与 (6) 与
- (8) 大衆^ノ為^レに甘露^ノ淨法^ヲを説^ク (30 a 10) (9)
- (11) /
- (12) のために (3-139)
- (13) 為^レ大衆^ノ説^ク甘露^ノ淨法^ヲ (3-71)
- (14) 為^レ大衆^ノ説^ク甘露^ノ淨法^ヲ (15) 与
- (16) 為^レ大衆^ノ説^ク甘露^ノ淨法^ヲ
- (17) 為^レ大衆^ノ説^ク甘露^ノ淨法^ヲ
- (18) 為^レ大衆^ノ説^ク甘露^ノ淨法^ヲ
- (19) 為^レ大衆^ノ説^ク甘露^ノ淨法^ヲ
- (20) 為^レ大衆^ノ説^ク甘露^ノ淨法^ヲ
- (21) 為^レ大衆^ノ説^ク甘露^ノ淨法^ヲ
- (22) 大衆^ノ為^レに△^レ▽^レに甘露^ノ淨法^ヲを説^ク (旧 133 新 139)
- (23) のために (上 278)
- (24) ノタメニ

- (25) /
- (24) タメニ
- (23) のために (上 278)
- (22) 常に大乘の為へたためゝに而も因縁を作す (旧 133 新 139)
- (21) 常_二為_二大乘_一,
- (20) 常_二為_二大乘_一,
- (19) 常_二為_二大乘_一,
- (18) 常_二為_二大乘_一,
- (17) 常_二為_二大乘_一,
- (16) 常_二為_二大乘_一,
- (14) 常_二為_二大乘_一, (15) 与
- (13) 常_二為_二大乘_一, (3-72)
- (12) のために (3-142)
- (11) /
- (9) 以
- (8) 常に大乘にオイテ而も因縁と作へナヅルを為てなり (30 a 13)
- (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) (6)
- (1) 常為大乘 (薬草品 二〇 a 12)
- No 179
- (25) /

- (1) No 181
- (25) /
- (24) ノタメニ
- (23) のために (上 278)
- (22) 恒に一切の為へたためゝに平等に法を説く (旧 133 新 139)
- (21) 恒_二為_二一切平等説法_一,
- (20) 恒_二為_二一切平等説法_一,
- (19) 恒_二為_二一切平等説法_一,
- (18) 恒_二為_二一切平等説法_一,
- (17) 恒_二為_二一切平等説法_一,
- (16) 恒_二為_二一切平等説法_一,
- (14) 恒_二為_二一切平等説法_一, (15) 与
- (13) 恒_二為_二一切平等説法_一, (3-74)
- (12) のために (3-146)
- (11) /
- (9) 以
- (8) 恒に一切において平等に法を説クを為てなり (30 a 16)
- (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) (6)
- (1) 恒為一切平等説法 (薬草品 二〇 a 15)
- No 180
- (1) No 181
- (25) /
- (24) ノタメニ
- (23) のために (上 278)
- (22) 恒に一切の為へたためゝに平等に法を説く (旧 133 新 139)
- (21) 恒_二為_二一切平等説法_一,
- (20) 恒_二為_二一切平等説法_一,
- (19) 恒_二為_二一切平等説法_一,
- (18) 恒_二為_二一切平等説法_一,
- (17) 恒_二為_二一切平等説法_一,
- (16) 恒_二為_二一切平等説法_一,
- (14) 恒_二為_二一切平等説法_一, (15) 与
- (13) 恒_二為_二一切平等説法_一, (3-74)
- (12) のために (3-146)
- (11) /
- (9) 以
- (8) 恒に一切において平等に法を説クを為てなり (30 a 16)
- (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) (6)
- (1) 恒為一切平等説法 (薬草品 二〇 a 15)
- No 180

- (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) (6)
- (8) 一人の為にするか如く (30 a 16) (9) 与
- (11) /
- (12) のために (3-146)
- (13) 如レ為^クニ^{スル}カ^ガ 一人 (3-75)
- (14) 如レ為^クニ^{スル}カ^ガ 一人 (15) 与
- (16) 如レ為^クニ^{スル}カ^ガ 一人
- (17) 如レ為^クニ^{スル}カ^ガ 一人
- (18) 如レ為^クニ^{スル}カ^ガ 一人
- (19) 如レ為^クニ^{スル}カ^ガ 一人
- (20) 如レ為^クニ^{スル}カ^ガ 一人
- (21) 如レ為^クニ^{スル}カ^ガ 一人
- (22) 一人の為へ^ナため^ニにするが如く衆多も亦然なり(旧 133 新 139)
- (23) のために (上 278)
- (24) ノタメニスルカ
- (25) /
- No 182
- (1) 名為大樹 (葉草品 二〇b2)
- (2) 作 (3) 作 (4) 作 (5) 与 (6) 作
- (8) 名(け)て大樹と為 (31 a 1) (9)
- (11) /

- (12) とす (3-171)
- (13) 名^テ為^ス大^ト樹^ト (3-86)
- (14) 名^テ為^ス大^ト樹^ト (15) 作
- (16) 名^テ為^ス大^ト樹^ト
- (17) 名^テ為^ス大^ト樹^ト
- (18) 名^テ為^ス大^ト樹^ト
- (19) 名^テ為^ス大^ト樹^ト
- (20) 名^テ為^ス大^ト樹^ト
- (21) 名^テ為^ス大^ト樹^ト
- (22) 名けて大樹とへ^ナす (旧 134 新 140)
- (23) となす (上 282)
- (24) トナス
- (25) /
- No 183
- (1) 今為汝等 (葉草品 二〇b22)
- (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) 与 (6) 与 (9) 与
- (8) 今汝等か為に最実の事を説ク (31 b 8)
- (11) /
- (12) かために (3-203)
- (13) 今^メ為^ニ汝^カ等^カ (3-101)
- (14) 今^メ為^ニ汝^カ等^カ (15) 与

- (16) 今為_二汝_一等_カ
- (17) 今為_二汝_一等_カ
- (18) 今為_二汝_一等_カ
- (19) 今為_二汝_一等_カ
- (20) 今為_二汝_一等_カ
- (21) 今為_二汝_一等_カ
- (22) 今汝等の為_レ入_レため_ニに最実事を説く (旧135 新141)
- (23) のために (上286)
- (24) ナンダチカタメニ
- (25) /
- No 184
- (1) 得成_レ為_レ仏 (授記品 二一〇b29)
- (2) 当 (3) 当 (4) 当 (5) (6)
- (8) 最後の身に為_レ入_レマサニアラム_ニに仏と成_レること得_レむ(31b17)
- (9) 当
- (11) /
- (12) になること (3-215)
- (13) 得_レ中_ニ成_レ為_レ仏_上 (3-108)
- (14) 得_レ成_レ為_レ仏_上
- (15) 当 作
- (16) 得_レ成_レ為_レ仏_上
- (17) 得_レ成_レ為_レ仏_上

- (18) 得_レ成_レ為_レ仏_上
- (19) 得_レ成_レ為_レ仏_上
- (20) 得_レ成_レ為_レ仏_上
- (21) 得_レ成_レ為_レ仏_上
- (22) 最後身に於_テて仏になることを得_レん (旧136 新143)
- (23) と成_レ為_レ入_レナ_ニ (上300)
- (24) (成_レ為_レ)ナルコトヲ
- (25) 当?
- (26) (尋)得_レ成_レ為_レ仏_上 為_レ仏_上 恵心・両仮名等皆成_レ為_レ二字合_ニナルト
 点。其義尤聞。補注・科注此為_レ訓_レ當。此、偈并_ニ須菩提
 記、亦有此語。皆訓當。不審無_レ限。或、義推云恐、是如_ニ余_一章云
 當得_レ作_レ仏_上當得_レ成_レ仏_上。一本云_ニ為_レ得_レ成_レ仏_上故、釈者云_レ訓_レ當。然
 後人見_ニ釈_一中、為_レ得_レ成_レ仏_上、文、違_ニ經_一、現本、得_レ成_レ為_レ仏_上即改_ニ釈
 文、為_レ得_レ成_レ仏_上。亦作_ニ得_レ成_レ為_レ仏_上歟。或云、今既記_ニ未來成_レ仏_上
 得_レ成_レ為_レ仏_上、為_レ仏_上可_レ読也。答不_レ可_レ然。觀藥王藥上菩薩經云於
 過去莊嚴中、得_レ成_レ為_レ仏_上乃至於賢劫中得_レ成_レ為_レ仏_上、於未來星宿劫中
 當得_レ作_レ仏_上、故普賢經亦說_ニ現在_ニ仏_上云、今於_ニ十方_一各得_レ為_レ為_レ仏_上。
 又宝塔品云、我為_レ仏_上道例_ニ此為_レ一_ニ仏_上之言_一。彌知、今成_レ
 為_レ一_ニ字_一、合_ニナル_一可_レ讀。況正法華亦云_ニ得_レ成_レ為_レ為_レ仏_上。或
 云_ニ當_レ成_レ為_レ為_レ仏_上。或云於當來世成_レ為_レ最勝_一 (是成_レ為_レ合_ニ用_レ
 之。或云_ニ連_レ成_レ無_レ上_一正真_一為_レ最正覺_一 (是成_レ為_レ離_ニ用_レ之。或
 長行_ニ云_ニ當_レ得_レ作_レ為_レ為_レ仏_上。偈頌_ニ云_ニ當_レ得_レ為_レ為_レ仏_上 (是正_レ以_レ為_レ代_レ作_レ也)。

故知今得成為仏之為訓成、訓作分明。然末師云訓當者如上言。或恐誤歟。(山)成為ナルコト二合訓。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|----------------|---------------------------|------|------|------|------|------|------|----------------|-----------------|----------------|------|----------------------|---|---------------------|-----|
| (25) | (24) | (23) | (22) | (21) | (20) | (19) | (18) | (17) | (16) | (14) | (13) | (12) | (11) | (8) | (2) | (1) | No |
| / | トナシテ | となして
(上300) | 瑠璃を地と為へなして
(旧137 新143) | 瑠璃為地 | 瑠璃為地 | 瑠璃為地 | 瑠璃為地 | 瑠璃為地 | 瑠璃為地 | 瑠璃為地
(15) 作 | 瑠璃為地
(3-114) | として
(3-225) | / | 瑠璃を地と為シテ
(32 a 8) | (無訓)
(3) (無訓)
(4) 作
(5) 作
(6) | 瑠璃為地
(授記品 二〇c 6) | 185 |

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------------------|-----|------|------|----------------|---------------------------|------|------|------|------|------|------|----------------|-----------------|----------------|------|----------------------|---------------------|-------------------------------------|-----|
| (2) | (1) | No | (25) | (24) | (23) | (22) | (21) | (20) | (19) | (18) | (17) | (16) | (14) | (13) | (12) | (11) | (8) | (2) | (1) | No |
| 以 | 為仏智慧
(授記品 二〇c 14) | 187 | / | トシテ | となして
(上300) | 黄金を繩と為へなして
(旧137 新143) | 黄金為繩 | 黄金為繩 | 黄金為繩 | 黄金為繩 | 黄金為繩 | 黄金為繩 | 黄金為繩
(15) 作 | 黄金為繩
(3-114) | として
(3-226) | / | 黄金を繩と為シテ
(32 a 8) | 黄金為繩
(授記品 二〇c 7) | 作
(3) 作
(4) 作
(5) 作
(6) | 186 |

- (8) 仏の智慧を為て淨く梵行を修せむ (32 b 2) (9) 以
- (11) のために (3-240) (3-121)
- (13) 為_レ仏、智慧、 (3-121)
- (14) 為_レ仏、智慧、 (15) 与
- (16) 為_レ仏、智慧、
- (17) 為_レ仏、智慧、
- (18) 為_レ仏、智慧、
- (19) 為_レ仏、智慧、
- (20) 為_レモテ、仏、智慧、
- (21) 為_レタシ、仏、智慧、
- (22) 仏の智慧の為_レへたため_レに淨く梵行を修せん (旧137 新144)
- (23) のために (上302)
- (24) ノタメニ
- (25) /
- No 188
- (1) 得成_レ為_レ仏 (授記品 二〇c 16)
- (2) 当 (3) 当 (4) 当 (5) 作 (6) 当
- (8) 最後の身に為_レへマサニアラム_レに仏として成ることを得む
- (11) / (32 b 4) (9) 当

- (12) になること (3-243)
- (13) 得_レ成_レ 為_レ 仏 (3-123)
- (14) 得_レ成_レ 為_レ 仏 (15)
- (16) 得_レ成_レ 為_レ 仏
- (17) 得_レ成_レ 為_レ 仏
- (18) 得_レ成_レ 為_レ 仏
- (19) 得_レ成_レ 為_レ 仏
- (20) 得_レ成_レ 為_レ 仏
- (21) 得_レ成_レ 為_レ 仏
- (22) 仏に成_レへ_レなる_レに_レ淨く梵行を修せん (旧137 新144)
- (23) と成_レ為_レへ_レなる_レに_レ淨く梵行を修せん (上302)
- (24) (成_レ為_レ)ナルコトヲ
- (25) 当?
- (26) (尋) No 184と同じ。
- No 189
- (1) 琉璃為_レ地 (授記品 二〇c 17)
- (2) (無訓) (3) (無訓) (4) 作 (5) (6) 作
- (8) 琉璃を地_レ為_レ(る)ならむ (32 b 5) (9) 作+
- (11) /
- (12) とし (3-245)
- (13) 琉璃_レ為_レ地 (3-123)

- (17) 以^テ為^レ莊嚴^ト
- (16) 以^{コレヲ以}為^レ莊嚴^ト
- (14) 以^{コレヲ以}為^レ莊嚴^ト (15)
- (13) 以^{コレヲ以}為^レ莊嚴^ト (3-125)
- (12) とせん (3-249)
- (11) /
- (8) 以て莊嚴と為^レ入^レセ^レむ (32 b 9)
- (2) 作 (3) 作 (4) 作 (5) 作 (6) 作 (9) 作+
- (1) 以為莊嚴 (授記品 二〇c 20)
- No 190
- (25) /
- (24) トシ
- (23) となし (上 302)
- (22) 瑠璃を地と為^レ入^レな^レし (旧 137 新 144)
- (21) 瑠璃^ヲ為^レ地^ト
- (20) 瑠璃^ヲ為^レ地^ト
- (19) 瑠璃^ヲ為^レ地^ト
- (18) 瑠璃^ヲ為^レ地^ト
- (17) 瑠璃^ヲ為^レ地^ト
- (16) 瑠璃^ヲ為^レ地^ト
- (14) 瑠璃^ヲ為^レ地^ト (15) 作

- (20) 見^{ラレハセ}為^レ授記^{ルコトヲ}者
- (19) 見^{ラレハ}為^レ授記^{コトヲ}者
- (18) 見^レ為^レ授記^セ者
- (17) 見^レ為^レ授記^セ者
- (16) 見^レ為^レ授記^セ者
- (14) 見^レ為^レ授記^セ者 (15) 与
- (13) 見^{レハナサ}為^レ授記^{スルコトヲ}者 (3-136)
- (12) ことをせられは (3-270)
- (11) /
- (8) 為に授記(せ)見^レ入^レラ^レレハ (33 a 7)
- (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) 与 (6) 与 (9) 与
- (1) 見為授記者 (授記品 二一a 4)
- No 191
- (25) /
- (24) トシ
- (23) となし (上 304)
- (22) 以て莊嚴と為^レ入^レな^レし (旧 137 新 144)
- (21) 以^テ為^レ莊嚴^ト
- (20) 以^{コレヲ以}為^レ莊嚴^ト
- (19) 以^テ為^レ莊嚴^ト
- (18) 以^テ為^レ莊嚴^ト

- (21) 見^レハ^ニ為^ニ授記^セ者
- (22) 授記せられれば甘露を以て灑ぐに熱を除いて清涼を得るが(旧 137 新 145)
- (23) ために (上 306)
- (24) タメニ
- (25) 与
- (26) (尋)見^レタメニ^ニ為^ニ授記^セ者^ハ此^ノ為^ニ訓^ス与^ハ。余^ノ点^ハ非^ハ也。
- No 192
- (1) 得成^レ為^レ仏 (授記品 一一 a 19)
- (2) 当 (3) 当 (4) 当 (5) (6)
- (8) 最後の身に為^レハマサニアラム^ニ成^ル事^ト得^ル事^ト (33 b 9)
- (9) 当
- (11) /
- (12) なること (3-296)
- (13) 得^レ成^ニ為^レ仏 (3-145)
- (14) 得^レ成^ニ為^レ仏 (15)
- (16) 得^レ成^ニ為^レ仏
- (17) 得^レ成^ニ為^レ仏
- (18) 得^レ成^ニ為^レ仏
- (19) 得^レ成^ニ為^レ仏
- (20) 得^レ成^ニ為^レ仏

- (21) 得^レ成^ニ為^レ仏^ト
- (22) 最後に身に於て仏に成^レハ^ニ成^ル事^ト得^ル事^ト (旧 139 新 146)
- (23) と成^レ為^レハ^ニ成^ル事^ト (上 308)
- (24) (成^レ為^レ)ナルコトヲ
- (25) 当?
- (26) (尋) No 184 と同じ。
- No 193
- (1) 頗梨^ヲ為^レ地 (授記品 一一 a 22)
- (2) 作 (3) 作 (4) 作 (5) (6)
- (8) 頗梨^ヲを地と為^レル^事ならむ (33 b 13)
- (9) (9)
- (11) /
- (12) とす (3-301)
- (13) 頗梨^ヲ為^レ地 (3-148)
- (14) 頗梨^ヲ為^レ地 (15) 作
- (16) 頗梨^ヲ為^レ地
- (17) 頗梨^ヲ為^レ地
- (18) 頗梨^ヲ為^レ地
- (19) 頗梨^ヲ為^レ地
- (20) 頗梨^ヲ為^レ地
- (21) 頗梨^ヲ為^レ地
- (22) 頗梨^ヲを地と為^レハ^ニ成^ル事^ト (旧 139 新 146)

(25)	(24)	(23)	(22)	(21)	(20)	(19)	(18)	(17)	(16)	(14)	(13)	(12)	(11)	(8)	(2)	(1)	No	(25)	(24)	(23)
/	ノタメニ	のために (上 308)	衆の為△ため▽に法を説いて (旧 140 新 147)	為 _レ 衆 _ヲ 説 _テ 法 _ヲ	為 _レ 衆 _ヲ 説 _テ 法 _ヲ	為 _レ 衆 _ヲ 説 _テ 法 _ヲ	為 _レ 衆 _ヲ 説 _テ 法 _ヲ	為 _レ 衆 _ヲ 説 _テ 法 _ヲ	為 _レ 衆 _ヲ 説 _テ 法 _ヲ	為 _レ 衆 _ヲ 説 _テ 法 _ヲ (15) 与	為 _レ 衆 _ヲ 説 _テ 法 _ヲ (3 153)	のために (3 313)	/	衆の為に法を説(きて (34 a 15)	与 (3) 与 (4) 与 (5) 与 (6) 与 (9) 与	為衆説法 (授記品 二二 a 18)	194	/	トシ	となし (上 308)

(2)	(1)	No	(25)	(24)	(23)	(22)	(21)	(20)	(19)	(18)	(17)	(16)	(14)	(13)	(12)	(11)	(8)	(2)	(1)	No
作 (3) 作 (4) 作 (5) 作 (6) 作 *	黄金為繩 (授記品 二二 b 27)	196	/	トシ	となし (上 314)	頗梨を地とし (旧 142 新 149)	玻瓈 _ヲ 為 _レ 地 _ト	玻瓈 _ヲ 為 _レ 地 _ト	玻瓈 _ヲ 為 _レ 地 _ト	頗梨 _ヲ 為 _レ 地 _ト	頗梨 _ヲ 為 _レ 地 _ト	頗梨 _ヲ 為 _レ 地 _ト	頗梨 _ヲ 為 _レ 地 _ト (15) 作	頗梨 _ヲ 為 _レ 地 _ト (3 177)	とし (3 360)	/	頗梨を地と為△セ▽む (35 a 7)	作 (3) 作 (4) 作 (5) 作 (6) 作 *	頗梨為地 (授記品 二二 b 27)	195

- (8) 黄金を縄と為^レシ^ハヱ^テ (35 a 8) (9)
- (11) /
- (12) とし^テ (3-261)
- (13) 黄金^ヲ為^シテ^ハ縄^ナ (3-178)
- (14) 黄金^ヲ為^シテ^ハ縄^ト (15)
- (16) 黄金^ヲ為^シテ^ハ縄^ト
- (17) 黄金^ヲ為^シテ^ハ縄^ト
- (18) 黄金^ヲ為^シテ^ハ縄^ト
- (19) 黄金^ヲ為^シテ^ハ縄^ト
- (20) 黄金^ヲ為^シテ^ハ縄^ト
- (21) 黄金^ヲ為^シテ^ハ縄^ト
- (22) 黄金を縄として (旧 142 新 149)
- (23) となし^テ (上 314)
- (24) トシ^テ
- (25) /
- (1) No 197 皆^レ為^シテ^ハ十方之所^ニ供養^ス (授記品 一一 c 11)
- (2) 得^ル (3) 得^ル (4) 得^ル (5) 得^ル (6) 得^ル
- (8) 皆^レ十方に^テ供養^ス(せ)所^ニ入^ル、^レヱ^テこと^ヲ為^シテ^ハエ^テム (35 b 7)
- (9) 得^ル
- (11) /

- (12) と^コろ^タら^ん (3-381)
- (13) 皆^レ為^シテ^ハ十方之所^ニ供養^ス (3-188)
- (14) 皆^レ為^シテ^ハ十方之所^ニ供養^ス (ル、コト)ノ「ノ」誤^カ
- (15) 得^ル
- (16) 皆^レ為^シテ^ハ十方之所^ニ供養^ス (為^シテ「コ」点は誤^カ)
- (17) 皆^レ為^シテ^ハ十方之所^ニ供養^ス
- (18) 皆^レ為^シテ^ハ十方之所^ニ供養^ス
- (19) 皆^レ為^シテ^ハ十方之所^ニ供養^ス
- (20) 皆^レ為^シテ^ハ十方之所^ニ供養^ス
- (21) 皆^レ為^シテ^ハ十方之所^ニ供養^ス
- (22) 皆^レ十方に^テ供養^スせらる、こと^ヲ為^シテ^ハエ^テム (旧 142 新 150)
- (23) と^コら^ん (上 316)
- (24) ラル、コトヲ^ハエン 198
- (25) 得^ル
- (26) 代^ヘタ^リ為^シテ^ハニ^云 (尋)皆^レ為^シテ^ハ十方之所^ニ供養^ス此^レ為^シテ^ハ訓^レ得^ル。句解^ニ云^フ皆^レ得^ル。
- (1) No 198 頗^レ梨^ヲ為^シテ^ハ地 (授記品 一一 c 25)
- (2) 作^ル (3) 作^ル (4) 作^ル (5) 作^ル (6) 作^ル
- (8) 頗^レ梨^ヲを^シ地^ニと^シテ^ハエ^テム (36 a 6) (9) 作^ル
- (11) /

(14) 為_レ廩道故_ニ (15) 以

(13) 為_レ廩道故_ニ (3-206)

(12) のための (3-404)

(11) /

(8) 廩道を為_レての故_ニ(に) 供養し恭敬せむ (36 a 16) (9) 以

(2) 以 (3) 以 (4) 以 (5) 与以 (6) 以

(1) 為廩道故 (授記品 一一一 a 3)

No 199

(25) /

(24) トシ

(23) となし (上 318)

(22) 頗梨を地として (旧 143 新 151)

(21) 玻瓈_ヲ 為_レ地_ト

(20) 玻瓈_ヲ 為_レ地_ト

(19) 玻瓈_ヲ 為_レ地_ト

(18) 頗梨_ヲ 為_レ地_ト

(17) 頗梨_ヲ 為_レ地_ト

(16) 頗梨_ヲ 為_レ地_ト

(14) 頗梨_ヲ 為_レ地_ト (15) 作

(13) 頗梨_ヲ 為_レ地_ト (3-200)

(12) とし (3-403)

(18) 常_ニ 為_レ 天人_ト

(17) 常_ニ 為_レ 天人_ト

(16) 常_ニ 為_レ 天人_ト

(14) 常_ニ 為_レ 天人_ト (15)

(13) 常_ニ 為_レ 天人_ト (3-211)

(12) のために (3-424)

(11) /

(8) 常に天と人との為_レに廩道を演説せむ (36 b 7) (9)

(2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) 与 (6)

(1) 常_ニ 為_レ 天人_ト (授記品 一一一 a 9)

No 200

(25) /

(24) ノタメノ

(23) のための (上 320)

(22) 廩道の為_レへため_ニの故_ニに供養恭敬し (旧 144 新 151)

(21) 為_レ廩道故_ニ

(20) 為_レ廩道故_ニ

(19) 為_レ廩道故_ニ

(18) 為_レ廩道故_ニ

(17) 為_レ廩道故_ニ

(16) 為_レ廩道故_ニ

- (19) 常_ニ為_ニ天人_一
- (20) 常_ニ為_ニ天人_一
- (21) 常_ニ為_ニ天人_一
- (22) 常に天人の為_レへため_レに仏道を演説せん (旧 144 新 151)
- (23) のために (上 320)
- (24) タメニ
- (25) /
- No 201
- (1) 磨_{シテ}以為_レ墨 (化城品 二二a 24)
- (2) 作 (3) 作 (4) 作 (5) 作 (6) 作* (9)
- (8) 磨_{シテ}して以て墨と為_レへな_レし_テ (37 a 7)
- (11) /
- (12) と_{シテ}なして (3-447)
- (13) 磨_{シテ}以為_レ墨 (3-447)
- (14) 磨_テ以為_レ墨 (15) 作
- (16) 磨_{ツテ}以為_レ墨
- (17) 磨_リ以為_レ墨
- (18) 磨_リ以為_レ墨
- (19) 磨_{シテ}以為_レ墨
- (20) 磨_{スツテ}以為_レ墨
- (21) 磨_{シテ}以為_レ墨

- (22) 磨_リ以て墨と為_レへな_レし_テ (旧 145 新 153)
- (23) と_{シテ}なし (中 10)
- (24) トナシテ
- (25) /
- No 202
- (1) 尽末_ヲ為_レ塵一_劫 (化城品 二二a 29)
- (2) 作 (3) 作 (4) 作 (5) 作 (6) 作* (9)
- (8) 尽_ク抹_{シテ}塵と為_レへな_レし_テ (37 a 14)
- (11) /
- (12) と_{シテ}なして (3-457)
- (13) 尽_ク抹_{シテ}為_レ塵一_劫 (3-229)
- (14) 尽_ク抹_{シテ}為_レ塵一_劫 (15) 作
- (16) 尽_ク抹_{シテ}為_レ塵一_劫
- (17) 尽_ク抹_{シテ}為_レ塵一_劫
- (18) 尽_ク抹_{シテ}為_レ塵一_劫
- (19) 尽_ク抹_{シテ}為_レ塵一_劫
- (20) 尽_ク抹_{シテ}為_レ塵一_劫
- (21) 尽_ク抹_{シテ}為_レ塵一_劫
- (22) 尽_ク抹_{シテ}塵と_{シテ}なして (旧 146 新 153)
- (23) と_{シテ}なして (中 12)
- (24) トナシテ

(25)	(24)	(23)	(22)	(21)	(20)	(19)	(18)	(17)	(16)	(14)	(13)	(12)	(11)	(8)	(2)	(1)	No	(25)
/	トナシテ	となし (中12)	悉く以て墨となし (旧146 新154)	皆悉 ^ク 以 ^テ 為 ^レ 墨 ^ト	皆 ^ナ 悉 ^ク 以 ^テ 為 ^レ 墨 ^ト	皆 ^ナ 悉 ^ク 以 ^テ 為 ^レ 墨 ^ト	皆 ^ナ 悉 ^ク 以 ^テ 為 ^レ 墨 ^ト	皆 ^ナ 悉 ^ク 以 ^テ 為 ^レ 墨 ^ト	皆 ^ナ 悉 ^ク 以 ^テ 為 ^レ 墨 ^ト	皆 ^ナ 悉 ^ク 以 ^テ 為 ^レ 墨 ^ト	皆 ^ナ 悉 ^ク 以 ^テ 為 ^レ 墨 ^ト	となして (3-469)	/	皆悉ク以て墨と為入ナシテ (37 b 8)	作 (3) 作 (4) 作 (5) 作 (6) 作 (9) 作*	皆悉以為墨 (化城品 二二 b 8)	203	/

(2)	(1)	No	(25)	(24)	(23)	(22)	(21)	(20)	(19)	(18)	(17)	(16)	(14)	(13)	(12)	(11)	(8)	(2)	(1)	No	
作 (3) 作 (4) 作 (5) 作 (6) 作*	一塵為一劫 (化城品 二二 b 12)	205	/	トナシテ	となし (中14)	尽く抹して塵となし (旧146 新154)	復 ^ク 尽 ^ク 抹 ^{シテ} 為 ^レ 塵 ^ト	復 ^ク 尽 ^ク 末 ^{シテ} 為 ^レ 塵 ^ト	復 ^ク 尽 ^ク 抹 ^{シテ} 為 ^レ 塵 ^ト	復 ^ク 尽 ^ク 抹 ^{シテ} 為 ^レ 塵 ^ト	復 ^ク 尽 ^ク 抹 ^{シテ} 為 ^レ 塵 ^ト	復 ^ク 尽 ^ク 抹 ^{シテ} 為 ^レ 塵 ^ト	復 ^ク 尽 ^ク 抹 ^{シテ} 為 ^レ 塵 ^ト	復 ^ク 尽 ^ク 抹 ^{シテ} 為 ^レ 塵 ^ト	となして (3-474)	/	復 ^ク 尽 ^ク 抹 ^{シテ} 墨と為入ナシテ (37 b 11)	復 ^ク 尽 ^ク 抹 ^{シテ} 墨と為入ナシテ (37 b 11)	復 ^ク 尽 ^ク 抹 ^{シテ} 墨と為入ナシテ (37 b 11)	復 ^ク 尽 ^ク 抹 ^{シテ} 墨と為入ナシテ (37 b 11)	204

- (8) 一塵を一劫と為^レセ^レム (37 b 12) (9)
- (11) / とせん (3-475)
- (12) 一塵^ヲ為^ニ一劫^ト (3-236)
- (13) 一塵^ヲ為^ニ一劫^ト (15) 作
- (14) 一塵^ヲ為^ニ一劫^ト
- (16) 一塵^ヲ為^ニ一劫^ト
- (17) 一塵^ヲ為^ニ一劫^ト
- (18) 一塵^ヲ為^ニ一劫^ト
- (19) 一塵^ヲ為^ニ一劫^ト
- (20) 一塵^ヲ為^ニ一劫^ト
- (21) 一塵^ヲ為^ニ一劫^ト
- (22) 一塵を一劫とせん (旧 146 新 154)
- (23) とせん (中 14)
- (24) トセン
- (25) /
- No 206
- (1) 先為彼仏於菩提樹下敷師子座 (化城品 二二 b 24)
- (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) 与 (6)
- (8) 先つ彼の仏を為て菩提樹下に師子の座を敷^レシ^レキ (38 a 8)
- (9) 以
- (11) /

- (12) のために (3-494)
- (13) 先^{サキヨリ}為^ニ彼^ニ (15) 与 (3-244)
- (14) 先^{サキヨリ}為^ニ彼^ニ 仏^ニ於^テ菩提樹下^ニ敷^ニ師子^ノ座^ヲ
- (16) 先^{サキヨリ}為^ニ彼^ニ 仏^ニ於^テ菩提樹下^ニ敷^ニ師子^ノ座^ヲ
- (17) 先^{サキヨリ}為^ニ彼^ニ 仏^ニ於^テ菩提樹下^ニ敷^ニ師子^ノ座^ヲ
- (18) 先^{サキヨリ}為^ニ彼^ニ 仏^ニ於^テ菩提樹下^ニ敷^ニ師子^ノ座^ヲ
- (19) 先^{サキヨリ}為^ニ彼^ニ 仏^ニ於^テ菩提樹下^ニ敷^ニ師子^ノ座^ヲ
- (20) 先^{サキヨリ}為^ニ彼^ニ 仏^ニ於^テ菩提樹下^ニ敷^ニ師子^ノ座^ヲ
- (21) 先^{サキヨリ}為^ニ彼^ニ 仏^ニ於^テ菩提樹下^ニ敷^ニ師子^ノ座^ヲ
- (22) 先より彼の仏の為^レた^レめに菩提樹下に於て師子座を (旧 147 新 155)
- (23) のために (中 16)
- (24) ノタメニ
- (25) /
- No 207
- (1) 為供養仏 (化城品 二二 b 29)
- (2) 以 (3) 以 (4) 以 (5) 以 (6) 以
- (8) 仏を供養シタテマツラムか為に常に天の鼓を撃^レウ^レチキ
- (11) / (38 a 17) (9) 与
- (12) かために (3-505)

- (13) 為^ニ供^ニ養^ニ 仏^ヲ (3-249)
- (14) 為^ニ供^ニ養^ニ 仏^ヲ (15) 以
- (16) 為^ニ供^ニ養^ニ 仏^ヲ
- (17) 為^ニ供^ニ養^ニ 仏^ヲ
- (18) 為^ニ供^ニ養^ニ 仏^ヲ
- (19) 為^ニ供^ニ養^ニ 仏^ヲ (ランカはママ)
- (20) 為^ニ供^ニ養^ニ 仏^ヲ
- (21) 為^ニ供^ニ養^ニ 仏^ヲ
- (22) 仏を供養せんが為^レ入^レため^ニに常に天鼓を撃つ (旧148 新155)
- (23) んがために (中18)
- (24) ンカタメニ
- (25) /
- No 208
- (1) 為^レ度^ニ衆^ニ生^ニ故 (化城品 二二c 12)
- (2) 以 (3) 以 (4) 以 (5) 与^レ以 (6) 以 (9) 以
- (8) 衆生を度するを為^レての故に (38 b 17)
- (11) /
- (12) かための (3-529)
- (13) 為^レ度^ニ 衆^ニ生^ニ故 (3-261)
- (14) 為^レ度^ニ 衆^ニ生^ニ故 (15)
- (16) 為^レ度^ニ 衆^ニ生^ニ故

- (17) 為^レ度^ニ 衆^ニ生^ニ故
- (18) 為^レ度^ニ 衆^ニ生^ニ故
- (19) 為^レ度^ニ 衆^ニ生^ニ故
- (20) 為^レ度^ニ 衆^ニ生^ニ故
- (21) 為^レ度^ニ 衆^ニ生^ニ故
- (22) 衆生を度せんが為^レ入^レため^ニの故に (旧148 新156)
- (23) んがための (中20)
- (24) ンカタメノ
- (25) /
- No 209
- (1) 為^レ得^ニ最大^ニ利^ニ (化城品 二二c 26)
- (2) 当 (3) 当 (4) 是 (5) 是 (6) 是
- (8) 為^レ最大^ニの利^ニを得^レつ (39 a 14) (9) 是
- (11) /
- (12) まさに (3-554)
- (13) 為^レ得^ニ 最大^ニ利^ニ (3-268)
- (14) 為^レ得^ニ 最大^ニ利^ニ (15) 是
- (16) 為^レ得^ニ 最大^ニ利^ニ
- (17) 為^レ得^ニ 最大^ニ利^ニ
- (18) 為^レ得^ニ 最大^ニ利^ニ
- (19) 為^レ得^ニ 最大^ニ利^ニ

- (20) コレ^{タリ} 為^レ得^ニ 最大利^一
 (21) スレ^{タリ} 為^レ得^ニ 最大利^一
 (22) 我等及び天人これ最大利を得たり (旧149 新157)
 (23) ために (中22)
 (24) コレ
 (25) 是
 (26) (尋) 為^レ得^ニ 最大利^一 此^ヲ 為^レ訓^レ是[。]
 No 210
 (1) 願^ハ為^ニ世間^一説 (化城品 二三a3)
 (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) 与 (6)
 (8) 願(はく)は世間の為に説(き)タマヘ (39 b 6) (9)
 (11) /
 (12) のために (3-560)
 (13) 願^ハ為^ニ世間^一説 (3-272)
 (14) 願^ハ為^ニ世間^一説 (15) 与
 (16) 願^ハ為^ニ世間^一説
 (17) 願^ハ為^ニ世間^一説
 (18) 願^ハ為^ニ世間^一説
 (19) 願^ハ為^ニ世間^一説
 (20) 願^ハ為^ニ世間^一説
 (21) 願^ハ為^ニ世間^一説

- (22) 願^ハはくは世間の為^レ入^{ため}に説^{いて} (旧150 新157)
 (23) のために (中22)
 (24) ノタメニ
 (25) /
 No 211
 (1) 為^ニ分別^一顯示 (化城品 二三a5)
 (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) 与 (6)
 (8) 為^ニ分別^一顯示して (39 b 7) (9)
 (11) /
 (12) ために (3-562)
 (13) 為^ニ分別^一顯示 (3-273)
 (14) 為^ニ分別^一顯示 (15)
 (16) 為^ニ分別^一顯示
 (17) 為^ニ分別^一顯示
 (18) 為^ニ分別^一顯示
 (19) 為^ニ分別^一顯示
 (20) 為^ニ分別^一顯示
 (21) 為^ニ分別^一顯示
 (22) 為^レ入^{ため}に分別^一顯示して是の智慧を得せしめたまへ(旧150 新157)
 (23) ために (中22)

- (24) タメニ
- (26) (尋)為分別顯示(シ)テ心空好(シ)。
- (25) No 212
- (1) 為諸梵衆而説偈言 (化城品 二三 a 22)
- (2) 与 (3) 与 (4) 向 (5) 与向 (6) 与 (9)
- (8) 諸の梵衆の為に而偈を説(き)て言ハク (40 a 11)
- (11) /
- (12) のために (3-595)
- (13) 為_ニ諸_ヲ梵衆_ニ而説_レ偈_ヲ言_フ (3-287)
- (14) 為_ニ諸_ヲ梵衆_ニ而説_レ偈_ヲ言_フ (15) 向
- (16) 為_ニ諸_ヲ梵衆_ニ而説_レ偈_ヲ言_フ
- (17) 為_ニ諸_ヲ梵衆_ニ而説_レ偈_ヲ言_フ
- (18) 為_ニ諸_ヲ梵衆_ニ而説_レ偈_ヲ言_フ
- (19) 為_ニ諸_ヲ梵衆_ニ而説_レ偈_ヲ言_フ
- (20) 為_ニ諸_ヲ梵衆_ニ而説_レ偈_ヲ言_フ
- (21) 為_ニ諸_ヲ梵衆_ニ而説_レ偈_ヲ言_フ
- (22) 諸の梵衆の為へため_ニに偈を説いて言はく (旧151 新158)
- (23) のために (中26)
- (24) ニムカツテ
- (25) /

- (24) No 213
- (1) 為大徳天生為仏出世間 (化城品 二三 a 25)
- (2) 是 (3) 是 (4) 是 (5) 是 (6) 是
- (8) 為_レコ_レ大徳の天の生_レタルカ為_レコ_レ大徳の世間に出_テ
- (11) タマヘルカ (40 a 15) (9) 是
- (12) /
- (13) とやせん (3-599)
- (14) 為_ニ大徳_ヲ天_ニ生_レ (3-290)
- (15) 是
- (16) 為_ニ大徳_ヲ天_ニ生_レ
- (17) 為_ニ大徳_ヲ天_ニ生_レ
- (18) 為_ニ大徳_ヲ天_ニ生_レ
- (19) 為_ニ大徳_ヲ天_ニ生_レ
- (20) 為_ニ大徳_ヲ天_ニ生_レ
- (21) 為_ニ大徳_ヲ天_ニ生_レ
- (22) 大徳の天の生ぜるとやせん (旧151 新159)
- (23) とせんや (中26)
- (24) コレ
- (25) 是
- (26) (尋)為大徳_ヲ天生_レ為_レ仏_ヲ出_テ世間_ニ此為_レ訓是。下皆准之。
- (27) (岩)ためなりや(初版)

- (8) 諸の梵衆の為に而(も)偈(を)説(きて)言(はく)(41 b 7)
- (11) /
- (12) のために (3-655)
- (13) 為_{ムニ}諸_{ムカテ}梵衆_{ムカテ} (3-314)
- (14) 為_{ムカテ}諸_{ムカテ}梵衆_{ムカテ} 15) 向
- (16) 為_{ムカテ}諸_{ムカテ}梵衆_{ムカテ}
- (17) 為_{ムカテ}諸_{ムカテ}梵衆_{ムカテ}
- (18) 為_{ムカテ}諸_{ムカテ}梵衆_{ムカテ}
- (19) 為_{ムカテ}諸_{ムカテ}梵衆_{ムカテ}
- (20) 為_{ムカテ}諸_{ムカテ}梵衆_{ムカテ}
- (21) 為_{ムカテ}諸_{ムカテ}梵衆_{ムカテ}
- (22) 諸の梵衆の為へためへに偈を説いて言はく (旧153 新161)
- (23) のために (中32)
- (24) ニムカツテ
- (25) /
- No 217
- (1) 為大徳天生為仏出世間 (化城品 一三三 b 29)
- (2) 是 (3) 是 (4) 是 (5) 是 (6) 是*
- (8) 為へコへレ大徳の天の生レタルカ為へコへレ仏の世間に出(て) タマヘルカ (41 b 9) (9) 是+

- (11) /
- (12) とやせん (3-660)
- (13) 為_{セム}大徳_{トヤ}天_{トヤ}生_{トヤ}為_{セム}仏_{トヤ}出_{トヤ}世間_{トヤ} (上ヘルトヤ)
- (14) 「為_{ムニ}はママ」 (3-316)
- (15) 是
- (16) 為_{コレ}大徳_{セム}天_{セム}生_{セム}為_{コレ}仏_{セム}出_{セム}世間_{セム}
- (17) 為_{コレ}大徳_{セム}天_{セム}生_{セム}為_{コレ}仏_{セム}出_{セム}世間_{セム}
- (18) 為_{コレ}大徳_{セム}天_{セム}生_{セム}為_{コレ}仏_{セム}出_{セム}世間_{セム}
- (19) 為_{コレ}大徳_{セム}天_{セム}生_{セム}為_{コレ}仏_{セム}出_{セム}世間_{セム}
- (20) 為_{コレ}大徳_{セム}天_{セム}生_{セム}為_{コレ}仏_{セム}出_{セム}世間_{セム}
- (21) 為_{コレ}大徳_{セム}天_{セム}生_{セム}為_{コレ}仏_{セム}出_{セム}世間_{セム}
- (22) 大徳の天の生ぜるとやせん (旧153 新161)
- (23) とせんや (中34)
- (24) コレ
- (25) 是*
- (26) (尋) No 213 に同じ。
- (27) (岩) ためなりや(初版)
- No 218
- (1) 為大徳天生為仏出世間 (化城品 一三三 b 29)
- (2) 是 (3) 是 (4) 是 (5) 是 (6) 是*
- (8) 為へコへレ大徳の天の生レタルカ為へコへレ仏の世間に出(て)

- (11) タマヘルカ (41 b 10) (9) 是十
- (12) とやせん (3-661)
- (13) 為^{セム}大徳^{トヤ}天^{セム}生^{トヤ} 為^{セム}仏^{トヤ}出^{上ヘルトヤ} 世間^ニ (3-316)
- (14) 為^{コレ}大徳^{トヤ}天^{セム}生^{トヤ} 為^{コレ}仏^{トヤ}出^{下ヘルトヤ} 世間^ニ (15) 是
- (16) 為^{コレ}大徳^{トヤ}天^{セム}生^{トヤ} 為^{コレ}仏^{トヤ}出^{下ヘルトヤ} 世間^ニ
- (17) 為^{セン}大徳^{トヤ}天^{セム}生^{トヤ} 為^{セン}仏^{トヤ}出^{下ヘルトヤ} 世間^ニ
- (18) 為^{セン}大徳^{トヤ}天^{セム}生^{トヤ} 為^{セン}仏^{トヤ}出^{下ヘルトヤ} 世間^ニ
- (19) 為^{コレ}大徳^{トヤ}天^{セム}生^{トヤ} 為^{コレ}仏^{トヤ}出^{下ヘルトヤ} 世間^ニ
- (20) 為^{コレ}大徳^{トヤ}天^{セム}生^{トヤ} 為^{コレ}仏^{トヤ}出^{下ヘルトヤ} 世間^ニ
- (21) 為^{ニヤ}大徳^{トヤ}天^{セム}生^{トヤ} 為^{ニヤ}仏^{トヤ}出^ト 世間^ニ
- (22) 仏の世間に出でたまへるとやせん (旧153) 新161
- (23) とせんや (中34)
- (24) コレ
- (25) 是*
- (26) (尋) No 214に同じ。
- (27) (出) ためなりや(初版)
- No 219
- (1) 為^{ニヤ}衆生^{トヤ}作^{トヤ}眼 (化城品 二三c 20)
- (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) 是 (6) 与 (9)
- (8) 衆生の為に眼と作(り)タマヘリ (42 b 2)

- (11) のために (3-697)
- (12) 為^メ衆生^{トヤ}作^{トヤ}眼^ト (3-330)
- (13) 為^{ニヤ}衆生^{トヤ}作^{トヤ}眼^ト (15) 与
- (14) 為^{ニヤ}衆生^{トヤ}作^{トヤ}眼^ト
- (16) 為^{ニヤ}衆生^{トヤ}作^{トヤ}眼^ト
- (17) 為^{ニヤ}衆生^{トヤ}作^{トヤ}眼^ト
- (18) 為^{ニヤ}衆生^{トヤ}作^{トヤ}眼^ト
- (19) 為^{ニヤ}衆生^{トヤ}作^{トヤ}眼^ト
- (20) 為^{ニヤ}衆生^{トヤ}作^{トヤ}眼^ト
- (21) 為^{ニヤ}衆生^{トヤ}作^{トヤ}眼^ト
- (22) 衆生の為へためへに眼となり (旧155) 新162
- (23) のために (中38)
- (24) ノタメノ
- (25) ノ
- No 220
- (1) 為^{ニヤ}衆生^{トヤ}之^{トヤ}父 (化城品 二三c 22)
- (2) 作 (3) 作 (4) 作 (5) 作 (6) 作
- (8) 衆生の父と為へシて哀愍し饒益シタマフ者へモノなり(42 b 4) (9)
- (11) として (3-699)
- (12) として (3-699)

- (14) 為_ニ諸_キ、梵_ニ衆_一、 (15) 向
- (13) 為_ニ諸_キ、梵_ニ衆_一、 (3-342)
- (12) のために (3-725)
- (11) /
- (8) 諸の梵衆の為に而も偈を説(き)て言(は)く (43 a 7) (9)
- (2) 与 (3) 与 (4) 向 (5) 向与 (6)
- (1) 為諸梵衆 (化城品 二四 a 7)
- No 221
- (25) /
- (24) トナツテ
- (23) となりて (中 38)
- (22) 衆生の父と為へな_レつて哀愍し饒益したまふ者なり(旧 155 新 163)
- (21) 為_ニ衆_ニ生_ニ、之_ニ父_ト、
- (20) 為_ニ衆_ニ生_ニ、之_ニ父_ト、
- (19) 為_ニ衆_ニ生_ニ、之_ニ父_ト、
- (18) 為_ニ衆_ニ生_ニ、之_ニ父_ト、
- (17) 為_ニ衆_ニ生_ニ、之_ニ父_ト、
- (16) 為_ニ衆_ニ生_ニ、之_ニ父_ト、
- (14) 為_ニ衆_ニ生_ニ、之_ニ父_ト、 (15) (3-331)
- (13) 為_ニ衆_ニ生_ニ、之_ニ父_ト、 (3-331)

- (17) 為_ニ大_ニ徳_ニ、天_ニ、生_ニ、 (15) 是
- (16) 為_ニ大_ニ徳_ニ、天_ニ、生_ニ、 (15) 是
- (14) 為_ニ大_ニ徳_ニ、天_ニ、生_ニ、 (15) 是
- (13) 為_ニ大_ニ徳_ニ、天_ニ、生_ニ、 (3-345)
- (12) とやせん (3-731)
- (11) /
- (8) タマヘルカ (43 a 10) (9)
- (2) 為へ_レコ_レ大徳の天の生レタルカ為へ_レコ_レ大徳の世間に出(て)
- (1) 為大徳天生為仏出世間 (化城品 二四 a 11)
- No 222
- (25) /
- (24) ニムカツテ
- (23) のために (中 40)
- (22) 諸の梵衆の為へた_レため_レに偈を説いて言はく (旧 156 新 164)
- (21) 為_ニ諸_ニ、梵_ニ衆_ニ、
- (20) 為_ニ諸_ニ、梵_ニ衆_ニ、
- (19) 為_ニ諸_ニ、梵_ニ衆_ニ、
- (18) 為_ニ諸_ニ、梵_ニ衆_ニ、
- (17) 為_ニ諸_ニ、梵_ニ衆_ニ、
- (16) 為_ニ諸_ニ、梵_ニ衆_ニ、

- (18) 為_二大德_一天_一生_二 | セルトヤセ_二ン 為_三仏_一出_二 | 下ヘルトヤ_二 世間_一
 - (19) 為_二大德_一天_一生_二 | セルトヤ_二 為_三仏_一出_二 | 下ヘルヤ_二 世間_一
 - (20) 為_レ大德_一天_一生_二 | セルヤ_二 為_三仏_一出_二 | 下ヘルヤ_二 世間_一
 - (21) 為_二大德_一天_一生_二 | セルトヤ_二 スト 為_三仏_一出_二 | 下ヘルトヤ_二 世間_一
 - (22) 大徳の天の生ぜるとやせん (旧156 新164)
 - (23) とせんや (中40)
 - (24) コレ
 - (25) 是*
 - (26) (尋) No 213に同じ。
 - (27) (岩) ためなりや(初版)
- No 223
- (1) 為_二大徳_一天_一生_二為_三仏_一出_二世間_一 (化城品 二四 a 11)
 - (2) 是 (3) 是 (4) 是 (5) 是 (6) 是*
 - (8) 為_レ入_レコ_レ大徳の天の生レタルカ為_レ入_レコ_レレ仏の世間に出(て)
 - (11) タマヘルカ (43 a 11) (9)
 - (12) : ^ 該当スル文ナシ_二 | (3-731)
 - (13) 為_二大徳_一天_一生_二 | セルトヤ_二 為_三仏_一出_二 | ヘルトヤ_二 世間_一
 - (14) 為_レ大徳_一天_一生_二 | セルヤ_二 為_三仏_一出_二 | 下ヘルヤ_二 世間_一
 - (16) 為_レ大徳_一天_一生_二 | セルヤ_二 為_三仏_一出_二 | 下ヘルヤ_二 世間_一
 - (17) 為_二大徳_一天_一生_二 | セルトヤ_二 セン 為_三仏_一出_二 | 下ヘルトヤ_二 世間_一

- (18) 為_二諸_一梵衆_一
- (17) 為_二諸_一梵衆_一
- (16) 為_二諸_一梵衆_一
- (14) 為_二諸_一梵衆_一
- (13) 為_二諸_一梵衆_一
- (12) とやせん (3-790)
- (11) / (3-371)
- (8) 諸の梵衆の為に而も偈を説(き)て言(は)く(44 b 6)
- (2) 与 (3) 与 (4) 向 (5) 向与 (6) 与 (9) 与
- (1) 為_二諸_一梵衆_一 (化城品 二四 b 14)
- (27) (岩) ためなりや(初版)
- (26) (尋) No 214に同じ。
- (25) 是*
- (24) コレ
- (23) とせんや (中40)
- (22) 仏の世間に出でたまへるとやせん (旧156 新164)
- (21) 為_二大徳_一天_一生_二 | セルトヤ_二 スト 為_三仏_一出_二 | 下ヘルトヤ_二 世間_一
- (20) 為_レ大徳_一天_一生_二 | セルヤ_二 為_三仏_一出_二 | 下ヘルヤ_二 世間_一
- (19) 為_二大徳_一天_一生_二 | セルトヤ_二 為_三仏_一出_二 | 下ヘルトヤ_二 世間_一
- (18) 為_二大徳_一天_一生_二 | セルトヤ_二 セン 為_三仏_一出_二 | 下ヘルトヤ_二 世間_一

- (19) 為_二諸_レ梵衆_一
- (20) 為_二諸_レ梵衆_一
- (21) 為_二諸_レ梵衆_一
- (22) 諸の梵衆の為_レへため_レに偈を説いて言はく (旧158 新166)
- (23) のために (中48)
- (24) ニムカツテ
- (25) /
- (26) (山)為 為々章訓_レ与、補注訓_レ向
- No 225
- (1) 為大徳天生為仏出世間 (化城品 二四b19)
- (2) 是 (3) 是 (4) 是 (5) 是 (6) 是*
- (8) 為_レへコ_レ大徳の天の生(れ)タルカ為_レ仏の世間に出(て)タマ
- ヘルカ (44b9) (9) 是
- (11) /
- (12) とやせん (3-796)
- (13) 為_二大徳_レ天生_{トヤ} 為_三仏_一出_{下ヘルトヤ} 世間_二
- (14) 為_レ大徳_レ天生_{セルヤ} 為_レ仏_一出_{下ヘルヤ} 世間_二
- (15) 是
- (16) 為_レ大徳_レ天生_{セルヤ} 為_レ仏_一出_{下ヘルヤ} 世間_二
- (17) 為_二大徳_レ天生_{セルトヤ} 為_三仏_一出_{下ヘルトヤ} 世間_二
- (18) 為_二大徳_レ天生_{セルトヤ} 為_三仏_一出_{下ヘルトヤ} 世間_二
- (19) 為_二大徳_レ天生_{トヤ} 為_三仏_一出_{下ヘルトヤ} 世間_二

- (19) 為_二大徳_レ天生_{トヤ} 為_三仏_一出_{下ヘルトヤ} 世間_二
- (18) 為_二大徳_レ天生_{セルトヤ} 為_三仏_一出_{下ヘルトヤ} 世間_二
- (17) 為_二大徳_レ天生_{セルトヤ} 為_三仏_一出_{下ヘルトヤ} 世間_二
- (16) 為_レ大徳_レ天生_{セルヤ} 為_レ仏_一出_{下ヘルヤ} 世間_二
- (14) 為_レ大徳_レ天生_{セルヤ} 為_レ仏_一出_{下ヘルヤ} 世間_二
- (15) 是
- (13) 為_二大徳_レ天生_{セルヤ} 為_三仏_一出_{下ヘルヤ} 世間_二
- (12) とやせん (3-797)
- (11) /
- (8) 為_レへコ_レ大徳の天の生(れ)タルカ為_レ仏の世間に出(て)タマ
- ヘルカ (44b10) (9) 是
- No 226
- (1) 為大徳天生為仏出世間 (化城品 二四b19)
- (2) 是 (3) 是 (4) 是 (5) 是 (6) 是*
- (27) (岩)ためなりや(初版)
- (26) (尋)No 213に同じ。
- (25) 是*
- (24) コレ
- (23) とせんや (中48)
- (22) 大徳の天の生ぜるとやせん (旧158 新166)
- (21) 為_二大徳_レ天生_{セルヤ} 為_三仏_一出_{下ヘルヤ} 世間_二
- (20) 為_二大徳_レ天生_{セルヤ} 為_三仏_一出_{下ヘルヤ} 世間_二

- (20) 為^{コレ}大徳、天^{セルヤ}生^{コレ} 為^下仏出^{ヘルヤ} 世間^ニ
- (21) 為^{シヤ}大徳、天^{スト}生^{フツ} 為^{シヤ}仏出^ニ 世間^ニ
- (22) 仏の世間に出でたまへるとやせん (旧158 新166)
- (23) とせんや (中48)
- (24) コレ
- (25) 是*
- (26) (尋) No 214に同じ。
- (27) (岩)ためなりや(初版)
- No 227
- (1) 仏為世間眼 (化城品 二四c 15)
- (2) 作 (3) 作 (4) 作 (5) 作 (6) 作
- (8) 仏世間の眼と為^{ハシ}∨^テ (45 b 6) (9)
- (11) /
- (12) としして (3-836)
- (13) 仏^ハ為^{シテ}世間^ト眼^ト (3-391)
- (14) 仏^ハ為^{ナツテ}世間^ト眼^ト (15) 作
- (16) 仏^ハ為^{ナツテ}世間^ト眼^ト
- (17) 仏^ハ為^{ナツテ}世間^ト眼^ト
- (18) 仏^ハ為^{ナツテ}世間^ト眼^ト
- (19) 仏^ハ為^{ナツテ}世間^ト眼^ト
- (20) 仏^ハ為^{ナツテ}世間^ト眼^ト

- (21) 仏^ハ為^リ世間^ト眼^ト
- (22) 仏は世間の眼と為^ハな^ナ∨^ツて久遠に乃し出でたまへり(旧160 新168)
- (23) となりて (中52)
- (24) トナツテ
- (25) 作
- (26) (尋) 仏^ハ為^{ナツテ}世間^ト眼^ト 此為訓作。
- No 228
- (1) 而為沙弥 (化城品 二五a 19)
- (2) 作 (3) 作 (4) 作 (5) 作 (6) 作
- (8) 而も沙弥と為^{ハナ}∨^ヌ (46 b 16) (9)
- (11) /
- (12) となる (3-899)
- (13) 而^モ為^{ナツ}沙弥^ト (3-418)
- (14) 而^モ為^{ナツ}沙弥^ト (15) 作
- (16) 而^モ為^{ナツ}沙弥^ト
- (17) 而^モ為^{ナツ}沙弥^ト
- (18) 而^モ為^{ナツ}沙弥^ト
- (19) 而^モ為^{ナツ}沙弥^ト
- (20) 而^モ為^{ナツ}沙弥^ト
- (21) 而^モ為^{ナツ}沙弥^ト

- (22) 出家して沙弥と為へな^レりぬ (旧 162 新 170)
- (23) となれり (中 58)
- (24) トナリヌ
- (25) (尋)而^{ナリヌ}為^{ナル}ニ沙弥^ト (右心空 左兩仮) 從^レ空。
- (26) 亦当に我等か為に阿耨多羅三藐三菩提の法を説(き)タマへ(47 a 3) (9)
- (8) 亦当に我等か為に阿耨多羅三藐三菩提の法を説(き)タマへ(47 a 3) (9)
- (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) 与 (6) 与
- (1) 当為我等説阿耨多羅三藐三菩提法 (化城品 二五 a 22)
- No 229
- (13) 当^ニ為^ニ我^ト 等^ト説^ト 阿耨多羅三藐三菩提^法 (3-1907)
- (14) 当^ニ為^ニ我^ト 等^ト説^ト 阿耨多羅三藐三菩提^法 (3-421)
- (15) 与
- (16) 当^ニ為^ニ我^ト 等^ト説^ト 阿耨多羅三藐三菩提^法
- (17) 当^ニ為^ニ我^ト 等^ト説^ト 阿耨多羅三藐三菩提^法
- (18) 当^ニ為^ニ我^ト 等^ト説^ト 阿耨多羅三藐三菩提^法
- (19) 当^ニ為^ニ我^ト 等^ト説^ト 阿耨多羅三藐三菩提^法
- (20) 当^ニ為^ニ我^ト 等^ト説^ト 阿耨多羅三藐三菩提^法
- (21) 当^ニ為^ニ我^ト 等^ト説^ト 阿耨多羅三藐三菩提^法
- (22) 我等が為へたため^レに阿耨多羅三藐三菩提の法を説きたまふ(旧)

- 162 新 170
- (23) われらがために (中 60)
- (24) ワレラカタメニ
- (25) /
- (9) 以
- (8) 阿耨多羅三藐三菩提を為ての故に皆共に受持し諷誦し(47 a 13)
- (2) 以 (3) 以 (4) 以 (5) 以 (6) 以
- (1) 為阿耨多羅三藐三菩提故 (化城品 二五 a 29)
- No 230
- (13) 為^ニ阿耨多羅三藐三菩提^故 (3-1922)
- (14) 為^ニ阿耨多羅三藐三菩提^故 (3-428)
- (15) 以
- (16) 為^ニ阿耨多羅三藐三菩提^故
- (17) 為^ニ阿耨多羅三藐三菩提^故
- (18) 為^ニ阿耨多羅三藐三菩提^故
- (19) 為^ニ阿耨多羅三藐三菩提^故
- (20) 為^ニ阿耨多羅三藐三菩提^故
- (21) 為^ニ阿耨多羅三藐三菩提^故
- (22) 阿耨多羅三藐三菩提の為へたため^レの故に皆共に受持し(旧)
- 163 新 171

(23) のための (中62)

(24) ノタメノ

(25) /

No 231

(1) 為四部衆 (化城品 二五b7)

(2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) 与 (6) 与

(8) 四部衆の為に妙法華經を広説し分別しき (47b6) (9)

(11) / (12) のために (3-936)

(13) 為四部衆 (3-434)

(14) 為四部衆 (15) 与

(16) 為四部衆

(17) 為四部衆

(18) 為四部衆

(19) 為四部衆

(20) 為四部衆

(21) 為四部衆

(22) 四部の衆の為へためへに広く妙法華經を説き分別す(旧163 新

171)

(23) のために (中62)

(24) ノタメニ

(25) /

No 232

(1) 甚為希有 (化城品 二五b12)

(2) 是 (3) 是 (4) 是 (5) 是 (6) 是 (9)

(8) 甚為へこへレ希有なり (47b12)

(11) / (12) これ (3-945)

(13) 甚為希有 (3-439)

(14) 甚為希有 (15) 是

(16) 甚為希有

(17) 甚為希有

(18) 甚為希有

(19) 甚為希有

(20) 甚為希有

(21) 甚為希有

(22) 甚だこれ希有なり (旧164 新172)

(23) これ (中64)

(24) コレ

(25) 是 (尋) 甚為希有 為訓是。

- (2) (1) No 234 我等為沙弥時 (化城品 二五 c 7)
- (3) 作
- (4) 作
- (5) 作
- (6) 作*
- (25) /
- (24) トセリ
- (23) となせり (中 66)
- (22) 無量百千万億の菩薩声聞あつて以て眷屬とせり(旧 165 新 173)
- (21) 以_テ為_リ眷屬_ト
- (20) 以_テ為_リ眷屬_ト
- (19) 以_テ為_リ眷屬_ト
- (18) 以_テ為_リ眷屬_ト
- (17) 以_テ為_リ眷屬_ト
- (16) 以_テ為_リ眷屬_ト
- (14) 以_テ為_リ眷屬_ト (15) 作
- (13) 以_テ為_リ眷屬_ト (3-1452)
- (12) とせり (3-1971)
- (11) /
- (8) 以て眷屬と為_レハセ_リ (48 a 12)
- (9) 作+
- (2) 作 (3) 作 (4) 作 (5) 作 (6) 作*
- (1) 以為眷屬 (化城品 二五 b 26)

- (11) (9) No 235 法を聞(き)しは阿耨多羅三藐三菩提を為てなり (48 b 9)
- (8) 以
- (2) 以 (3) 以 (4) 以 (5) 成 (6) 作*
- (1) 従我聞法為阿耨多羅三藐三菩提 (化城品 二五 c 8)
- (25) /
- (24) タリシ
- (23) たりし (中 68)
- (22) 我等沙弥たりし時 (旧 165 新 173)
- (21) 我_レ等_レ為_レ沙弥_ト時
- (20) 我_レ等_レ為_レ沙弥_ト時_{*}
- (19) 我_レ等_レ為_レ沙弥_ト時_{*}
- (18) 我_レ等_レ為_レ沙弥_ト時_{*}
- (17) 我_レ等_レ為_レ沙弥_ト時_{*}
- (16) 我_レ等_レ為_レ沙弥_ト時_{*}
- (14) 我_レ等_レ為_レ沙弥_ト時_{*} (15) 作
- (13) 我_レ等_レ為_レ沙弥_ト時_{*} (3-1462)
- (12) たりし (3-1988)
- (11) /
- (8) 我レ等_レハ_レラ_レシ沙弥_ト為_レハ_レタ_レシ時に (48 b 7)
- (9)

- (12) のためなり (3-991)
 (13) 従_レ我_ニ聞_レ法_ヲ為_ニ阿耨多羅三藐三菩提_一 (3-463)
 (14) 従_レ我_ニ聞_レ法_ヲ為_ニ阿耨多羅三藐三菩提_一 (15) 作以
 (16) 従_レ我_ニ聞_レ法_ヲ為_ニ阿耨多羅三藐三菩提_一
 (17) 従_レ我_ニ聞_レ法_ヲ為_ニ阿耨多羅三藐三菩提_一
 (18) 従_レ我_ニ聞_レ法_ヲ為_ニ阿耨多羅三藐三菩提_一
 (19) 従_レ我_ニ聞_レ法_ヲ為_ニ阿耨多羅三藐三菩提_一
 (20) 従_レ我_ニ聞_レ法_ヲ為_ニ阿耨多羅三藐三菩提_一
 (21) 従_レ我_ニ聞_レ法_ヲ為_ニ阿耨多羅三藐三菩提_一
 (22) 我に從つて法を聞きしは阿耨多羅三藐三菩提を為_レな_レし(旧 165 新173)
 (23) の為_レ入_レタメ_レなり (中68)
 (24) ノ(ママ) ナリニキ
 (25) (尋) 従_レ我_ニ聞_レ法_ヲ為_ニ阿耨多羅三藐三菩提_一 是_レ為_レ科注_ニ訓_レ作_一 補注_ニ訓_レ以_ニ今且_ニ從_ニ必昇_一取_ニ作_ニ訓_一何_レ者_ニ文段_ニ既_ニ云_ニ不_レ退_一者住_ニ三菩提_一又_ニ文鉢_ニ可_レ爾_一也。
- (1) No 236 為_レ説_ニ是_ニ經_一 (化城品 二五c 22)
 (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) 与 (6) 与
 (8) 為_レに_レ是_レの_レ經_一を説_ク (49 a 10) (9) 与

- (11) / ために (3-1016)
 (12) ために (3-476)
 (13) 為_レ説_ニ是_ニ經_一 (15) 与
 (14) 為_レ説_ニ是_ニ經_一
 (16) 為_レ説_ニ是_ニ經_一
 (17) 為_レ説_ニ是_ニ經_一
 (18) 為_レ説_ニ是_ニ經_一
 (19) 為_レ説_ニ是_ニ經_一
 (20) 為_レ説_ニ是_ニ經_一
 (21) 為_レ説_ニ是_ニ經_一
 (22) 諸の菩薩及び声聞衆を集めて為_レ入_レタメ_レに_レ是_レの_レ經_一を説_ク(旧 166 新174)
 (23) ために (中70)
 (24) タメニ
 (25) /
- (1) No 237 為_レ是_ニ等_ニ故_一 (化城品 二五c 25)
 (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) 与 (6) 与
 (8) 是_レ等_レ入_レタメ_レの_レ為_レ入_レタメ_レの_レ故_一に涅槃を説_レト_レキ(49 a 15)
 (9) /

- (1) No 238 為止息耳 (化城品 二六 a 13)
- (12) かための (3-1023)
- (13) 為_レ是_レ等_ニ故_ニ (3-478)
- (14) 為_レ是_レ等_ニ故_ニ (15) 与
- (16) 為_レ是_レ等_ニ故_ニ
- (17) 為_レ是_レ等_ニ故_ニ
- (18) 為_レ是_レ等_ニ故_ニ
- (19) 為_レ是_レ等_ニ故_ニ
- (20) 為_レ是_レ等_ニ故_ニ
- (21) 為_レ是_レ等_ニ故_ニ
- (22) 是れ等の為_レへたため_レの故に涅槃を説く (旧167 新175)
- (23) のための (中72)
- (24) コレラカタメノ
- (25) 与
- (26) (尋) 為_レ是_レ等_ニ故_ニ説_ニ於_ニ涅槃_ヲ譬_ヲ喩_品、為此等故説於_ニ苦諦_ヲ為_レ是_レ等故方便説道等_ヲ為_レ訓_レ以_レ。故モテ説_ト。今既訓与、故タメ_ト説也。既_ニ同_ニ文_ヲ牀也。何_レ訓_レ不同_{ナル}ヤ。思_ハ是_レ、今_ニ文_上有_ニ知_字、只_レ仏_ニ既_ニ知_ニ其_レ機_、即_レ与_レ其_レ、説_ニ其_レ法_也。彼_ニ不_レ云_レ知_、只_レ拳_ニ其_レ機_{相_、以_ニ是_レ等_ニ劣_機故_、説_ニ四_諦云_歟。文_言、能_ク可_ク吟_味一_也。}

- (2) 以 (3) 以 (4) 以 (5) 以 (6) 作
- (8) 止息_ハヤスメヤス_ノムルヲ_為てナラク耳_ハノミ_トイハムカ如ク (50 a 6) (9) 以
- (11) /
- (12) のためならくのみ (3-106)
- (13) 為_レ止_息耳_甲 (3-494)
- (14) 為_レ止_息耳_甲 (15) 以
- (16) 為_レ止_息耳_甲
- (17) 為_レ止_息耳_甲
- (18) 為_レ止_息耳_甲
- (19) 為_レ止_息耳_甲
- (20) 為_レ止_息耳_甲
- (21) 為_レ止_息耳_甲
- (22) 止息せんが為_レへたため_レのみと言はんが如し (旧168 新176)
- (23) のためなるのみ (中74)
- (24) ンタメナラク
- (25) /
- (26) (尋) 語_テ衆_人言_{ハク}、為_レ止_息耳_上諸_点皆_語衆_人言_{ハク}、為_レ止_息耳_ト云_{ハク}トアリ。然_レ二_度云_、ツクル事_無詮_歟。只_下言_{ハク}コトシト説_、無_其尋_也。元_{ヨリ}オモヘラクオモヘリ、スヘカラクスヘシナト云_事有_同一_度能_スム_処テマヲ入_レ無_詮事_也。又_レ兩_仮為_レ止_息アリ。心_空、為_レ止_息一_点。

今且從_二心空_一。

- No 239
- (1) 今為汝等作大導師 (化城品 二二六 a 14)
- (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) (6)
- (8) 今汝等か為に大導師と作_レ入_レナ_レテ (50 a 8) (9)
- (11) /
- (12) かために (3 | 1063)
- (13) 今為_マ汝_メ等_カ作_ナレリ大導師_ト (3 | 495)
- (14) 今為_ニ汝_ニ等_カ作_テ大導師_ト (15) 与
- (16) 今為_ニ汝_ニ等_カ作_テ大導師_ト
- (17) 今為_ニ汝_ニ等_カ作_テ大導師_ト
- (18) 今為_ニ汝_ニ等_カ作_テ大導師_ト
- (19) 今為_ニ汝_ニ等_カ作_{レリ}大導師_ト
- (20) 今為_マ汝_メ等_カ作_テ大導師_ト
- (21) 今為_ニ汝_ニ等_カ作_テ大導師_ト
- (22) 今汝等が為_レ入_レため_レに大導師と作_テつて (旧 168 新 176)
- (23) 汝等のために (中 74)
- (24) ナンダチカタメニ
- (25) /

- No 240
- (1) 為止息故 (化城品 二二六 a 18)
- (2) 以 (3) 以 (4) 以 (5) (6) 以
- (8) 而も中道に於て止息セシムルヲ為_レての故に (50 a 15) (9) 以
- (11) /
- (12) のための (3 | 1073)
- (13) 為_メ止息_ヘ故 (3 | 500)
- (14) 為_メ止息_ニ故 (15) 以
- (16) 為_メ止息_ニ故
- (17) 為_メ止息_ニ故
- (18) 為_メ止息_ニ故
- (19) 為_メ止息_ニ故
- (20) 為_メ止息_ニ故
- (21) 為_メ止息_ニ故
- (22) 止息せんが為_レ入_レため_レの故に_二涅槃を説く_一 (旧 168 新 176)
- (23) んがための (中 76)
- (24) ンカタメノ
- (25) /
- (1) 即便為説 (化城品 二二六 a 20)
- (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) (6) 与
- No 241

- (8) 如来爾の時に即便為に説(き)タマハク (50 a 17) (9) 与
- (11) /
- (12) ために (3 | 1075)
- (13) 即 | 便為^{メニ}説^下 (3 | 501)
- (14) 即 | 便為^ニ説^ク (15) 与
- (16) 即 | 便為^チ説^ク
- (17) 即 | 便為^チ説^ク
- (18) 即 | 便為^チ説^ク
- (19) 即 | 便為^チ説^ク
- (20) 即 | 便為^チ説^ク
- (21) 即 | 便為^チ説^ク
- (22) 如来爾の時に即ち為^レために^レに説く (旧 168 新 176)
- (23) ために (中 76)
- (24) タメノ
- (25) /
- No 242
- (1) 為止息故 (化城品 二六 a 23)
- (2) 以 (3) 以 (4) 以 (5) 以 (6) 以 (9) 以
- (8) 止息セシムルヲ為^テの故に (50 b 4)
- (11) /
- (12) のための (3 | 1081)

- (13) 為^ニ止息^{シメムカ}故^{ヘニ} (3 | 504)
- (14) 為^ニ止息^{センカ}故^ニ (15)
- (16) 為^ニ止息^{センカ}故^ニ
- (17) 為^ニ止息^{センカ}故^ニ
- (18) 為^ニ止息^{センカ}故^ニ
- (19) 為^ニ止息^ニ故^ニ
- (20) 為^ニ止息^ニ故^ニ
- (21) 為^ニ止息^{センシメシカ}故^ニ
- (22) 止息せんが為^レために^レの故に大城を化作し (旧 169 新 177)
- (23) のための (中 76)
- (24) シンカタメノ
- (25) /
- No 243
- (1) 為覚悟群生 (化城品 二六 b 10)
- (2) 以 (3) 以 (4) 以 (5) 以 (6) 以
- (8) 群生を覚悟セシムルヲ為^テ一切を震動シタマフ (51 a 6)
- (9) 以
- (11) /
- (12) かために (3 | 1104)
- (13) 為^ニ覚悟^{シムカ}群生^ニ (3 | 513)
- (14) 為^ニ覚悟^{シムカ}群生^ニ (15) 以

- (16) 為_レ宣_ニ種_ヲ種、法四諦 十二縁
- (14) 為_レ宣_ニ種_ヲ種、法四諦 十二縁 (15) 与
- (13) 為_レ宣_ニ種_ヲ種、法四諦 十二縁 (3-112)
- (12) ために (3-112)
- (11) /
- (8) 為_レ宣_ニ種_ヲ種、法四諦と十二縁トヲ宣_ハノ_ヘタマフ (51 b 1)
- (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) 与 (6) 与
- (1) 為_レ宣_ニ種_ヲ種、法四諦 十二縁 (化城品 二六 b 22)
- No 244
- (25) /
- (24) タメニ
- (23) んがために (中 78)
- (22) 群生を覚悟せんが為_レ入_レため_ニ一切を震動したまふ(旧 169 新 178)
- (21) 為_レ覺_ニ悟_セ群生
- (20) 為_レ覺_ニ悟_セ群生
- (19) 為_レ覺_ニ悟_セ群生
- (18) 為_レ覺_ニ悟_セ群生
- (17) 為_レ覺_ニ悟_セ群生
- (16) 為_レ覺_ニ悟_セ群生

- (18) 為_レ無量億、衆
- (17) 為_レ無量億、衆
- (16) 為_レ無量億、衆 (15) 与
- (14) 為_レ無量億、衆 (3-530)
- (13) 為_レ無量億、衆 (3-1148)
- (12) のために (3-1148)
- (11) /
- (8) 無量億の衆の為_レに仏の無上の慧を説(き)タマヒキ (52 a 6)
- (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) 与 (6) 与
- (1) 為_レ無量億衆 (化城品 二六 c 14)
- No 245
- (25) /
- (24) タメニ
- (23) ために (中 80)
- (22) 為_レ入_レため_ニ種種の法四諦十二縁を宣_ハたまふ(旧 170 新 178)
- (21) 為_レ宣_ニ種_ヲ種、法四諦 十二縁
- (20) 為_レ宣_ニ種_ヲ種、法四諦 十二縁
- (19) 為_レ宣_ニ種_ヲ種、法四諦 十二縁
- (18) 為_レ宣_ニ種_ヲ種、法四諦 十二縁
- (17) 為_レ宣_ニ種_ヲ種、法四諦 十二縁

- (21) 曾^テ亦^ダ為^レ汝^カ說^キ
- (20) 曾^テ亦^ダ為^レ汝^カ說^キ
- (19) 曾^シ亦^シ為^レ汝^カ說^キ
- (18) 曾^テ亦^ダ為^レ汝^カ說^キ
- (17) 曾^テ亦^ダ為^レ汝^カ說^キ
- (16) 曾^テ亦^ダ為^レ汝^カ說^キ
- (14) 曾^テ亦^ダ為^レ汝^カ說^キ (15) 与
- (13) 曾^テ亦^ダ為^レ汝^カ說^キ (3-535)
- (12) かために (3-1162)
- (11) /
- (8) 曾^シ亦^ダ汝^カ為^レに說^ハトキ^ク (52 a 17) (9)
- (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5) 与 (6) 与
- (1) 曾亦為汝說 (化城品 二六 c 25)

- (25) /
- (24) ノタメニ
- (23) のために (中 84)
- (22) 無量億の衆の為^ハために^クに仏の無上慧を説く (旧 171 新 179)
- (21) 為^ニ無量億^ノ衆^ニ
- (20) 為^ニ無量億^ノ衆^ニ
- (19) 為^ニ無量億^ノ衆^ニ

No 246

- (23) これ (中 88) (旧 173 新 181)
- (22) これ一切の導師なり
- (21) 為^ニ一切^ノ導師^{ナリ}
- (20) 為^ニ一切^ノ導師^{ナリ}
- (19) 為^ニ一切^ノ導師^{ナリ}
- (18) 為^ニ一切^ノ導師^{ナリ}
- (17) 為^ニ一切^ノ導師^{ナリ}
- (16) 為^ニ一切^ノ導師^{ナリ}
- (14) 為^ニ一切^ノ導師^{ナリ} (15) 是
- (13) 為^ニ一切^ノ導師^{ナリ} (3-549)
- (12) たり (3-1200)
- (11) /
- (8) 我亦復是の如し為^ハコ^クレ一切の導師なり (53 a 9) (9)
- (2) 作 (3) 作 (4) 是 (5) 是 (6) 是
- (1) 為一切導師 (化城品 二七 a 23)

- (25) /
- (24) ナンチカタメニ
- (23) 汝がために (中 84)
- (22) 我十六の数にあつて曾て亦汝が為^ハために^クに説き、(旧 172 新 180)

No 247

- (25) / コレ
- (24) No 248
- (23) 為息説涅槃 (化城品 二七 a 26)
- (22) 与 (3) 与 (4) 以 (5) 与 (6) 以
- (21) 故ラに方便の力を以て息入ヤスヾムルを為て涅槃を説(き)て (53 a 12) (9) 以
- (20) /
- (19) かために (3-1204)
- (18) 為^{メニ}息^{メニ}説^テ涅槃^ヲ (3-550)
- (17) 為^{メニ}息^{メニ}説^テ涅槃^ヲ (15) 以
- (16) 為^{メニ}息^{メニ}説^テ涅槃^ヲ
- (15) 為^{メニ}息^{メニ}説^テ涅槃^ヲ
- (14) 為^{メニ}息^{メニ}説^テ涅槃^ヲ
- (13) 為^{メニ}息^{メニ}説^テ涅槃^ヲ
- (12) 為^{メニ}息^{メニ}説^テ涅槃^ヲ
- (11) 為^{メニ}息^{メニ}説^テ涅槃^ヲ
- (10) 為^{メニ}息^{メニ}説^テ涅槃^ヲ
- (9) 為^{メニ}息^{メニ}説^テ涅槃^ヲ
- (8) 為^{メニ}息^{メニ}説^テ涅槃^ヲ
- (7) 為^{メニ}息^{メニ}説^テ涅槃^ヲ
- (6) 為^{メニ}息^{メニ}説^テ涅槃^ヲ
- (5) 為^{メニ}息^{メニ}説^テ涅槃^ヲ
- (4) 為^{メニ}息^{メニ}説^テ涅槃^ヲ
- (3) 為^{メニ}息^{メニ}説^テ涅槃^ヲ
- (2) 為^{メニ}息^{メニ}説^テ涅槃^ヲ
- (1) 息めんが為へためゝに涅槃を説いて (旧 173 新 181)
- (23) んがために (中 90)
- (24) /
- (25) /

- (1) No 249
- (2) 為説眞実法 (化城品 二七 a 29)
- (1) (無訓) (3) (無訓) (4) 与 (5) (6)
- (8) 爾して乃し大衆を集めて為に眞実法を説ク (53 a 15) (9) 与
- (11) /
- (12) たために (3-1208)
- (13) 為^{メニ}説^ク眞実^ヲ法^ヲ (3-552)
- (14) 為^{メニ}説^ク眞実^ヲ法^ヲ (15) 与
- (16) 為^{メニ}説^ク眞実^ヲ法^ヲ
- (17) 為^{メニ}説^ク眞実^ヲ法^ヲ
- (18) 為^{メニ}説^ク眞実^ヲ法^ヲ
- (19) 為^{メニ}説^ク眞実^ヲ法^ヲ
- (20) 為^{メニ}説^ク眞実^ヲ法^ヲ
- (21) 為^{メニ}説^ク眞実^ヲ法^ヲ
- (22) 爾して乃し大衆を集めて為へためゝに眞実の法を説ク (旧 173 新 182)
- (23) ために (中 90)
- (24) タメニ
- (25) /
- (1) No 250
- (1) 今為汝説実 (化城品 二七 b 3)

- (2) 与 (3) 与 (4) 与 (5)
- (8) 今汝が為に実を説ク (53 b 1)
- (11) /
- (12) かために (3-122)
- (13) 今為レ汝説ク実 (3-553)
- (14) 今為レ汝説ク実 (15) 与
- (16) 今為レ汝説ク実
- (17) 今為レ汝説ク実
- (18) 今為レ汝説ク実
- (19) 今為レ汝説ク実
- (20) 今為レ汝説ク実
- (21) 今為レ汝説ク実
- (22) 今汝が為に実を説ク (旧 174 新 182)
- (23) 汝がために (中 90)
- (24) ナンチカタメニ
- (25) /

No

251

- (1) 為仏一切智 (化城品 二七 b 4)
- (2) 作以 (3) 作以 (4) 求以 (5)
- (8) 仏の一切智を為て当に大精進を發(す)ヘシ(53 b 2)
- (11) /
- (19) 以

- (12) のために (3-124)
- (13) 為レ仏一切智 (3-554)
- (14) 為レ仏一切智 (15) 求以
- (16) 為レ仏一切智
- (17) 為レ仏一切智
- (18) 為レ仏一切智
- (19) 為レ仏一切智
- (20) 為レ仏一切智
- (21) 為レ仏一切智
- (22) 仏の一切智の為に実を説ク (旧 174 新 182)
- (23) のために (中 90)
- (24) ノタメニ
- (25) 求以
- (26) (尋) 為レ仏一切智、此、為訓求或訓以。以訓。易諸本尔也。タメト読以、義ナルコト、如為於法故等、例也。(山) 為、為々章、作以兩訓、補注訓求

No

252

- (1) 為息説涅槃 (化城品 二七 b 8)
- (2) 与 (3) 与 (4) 以 (5)
- (8) 諸仏の導師は息ハヤス、ムルを為て涅槃を説(き)タマフ(53 b 5)
- (9) 以

- (11) /
- (12) かたために (3 | 1218)
- (13) 為^{メニ}息^{ヤス} メニ 説^下 涅槃^ラ (3 | 555)
- (14) 為^{レニ}息^{シカ} 説^下 涅槃^ラ (15) 以
- (16) 為^{レニ}息^{シカ} 説^下 涅槃^ラ
- (17) 為^{レニ}息^{シカ} 説^下 涅槃^ラ
- (18) 為^{レニ}息^{メン} 説^下 涅槃^ラ
- (19) 為^{レニ}息^{シカ} 説^下 涅槃^ラ
- (20) 為^{レニ}息^{スメン} 説^下 涅槃^ラ
- (21) 為^{レニ}息^{シカ} 説^下 涅槃^ラ
- (22) 息めんが為^{レニ}へため^ニに涅槃を説きたまふ (旧 174 新 182)
- (23) んがために (中 90)
- (24) シカタメニ
- (25) /

付記 本稿は文部省科学研究補助金による研究成果の一部である。

(つづく)